

池泉回遊式日本庭園 由志園(ゆうしえん)



所在地：島根県松江市八束町波入1260-2
庭園面積：約40,000m²
照明設計：東芝ライテック(株)
照明工事：島根電工(株)
工事完成：平成20年11月

開園34年を迎え、今や島根県を代表する、牡丹の咲く日本庭園として、その名を知られるようになった「由志園」。来園者にさらなる燃える秋の庭園散策の魅力を提供するためにライトアップを実施。周り一面が錦繡の彩りに包まれた秋の魅力を引き立てています。

めぐる季節ごとに咲き競う花、そして紅葉、四季を愉しめる池泉回遊式日本庭園

年間25万人以上の来園がある島根県・大根島「由志園」は、大輪の牡丹や四季折々の花が観賞できる池泉(ちせん)回遊式の日本庭園です。萌えいずる新緑と百花繚乱のいろどり、中でも大輪の牡丹はその優雅さを競い、訪れる人々を魅了しています。夏は松の緑と滝から流れるせせらぎの音が涼しさを奏で、紅葉の秋は趣を変えた侘びと寂のある風景を見せています。また、冬は緑と雪のコントラストが美しく、寒をついて咲く清楚な花々に心がなごみます。

秋には紅葉が織りなす錦絵巻となり、水面もまた秋色に染まる夜の姿をライトアップにより再現しています。



池泉に架かる朱色の赤橋周辺の紅葉をネオセラ35Wスポットライトで美しく再現

紅葉・黒松などの樹木に合わせた光源器具を選定し、より庭園の秋の魅力を引き出したライトアップ

広大な池泉を廻る山水の庭、季節ごとに咲き競う花と共に、紅葉が織りなす燃える秋を夜も再現するために設置されたライトアップ。庭園入口の動線部には、50Wハロゲン灯具7台を路面に配置し、目の前に広がる紅葉する庭園への誘導光としています。

池泉回遊式庭園中央の赤橋から竜溪滝方向を望む景観にある黒松には緑をあざやかに再現するCDM35Wスポットライトを、紅葉する樹木には赤を美しく再現する135W小形レフランプ投光器を樹木の足元に目立たないように設置。下方からあおり上げた光で木の葉や枝を浮き上がらせ、松の葉の緑と紅葉したもみじの葉が美しいコントラストを描き、奥行き感を演出。また、ライトアップ期間は滝の流れを止め、水面に波が立たないようにしているため、照らし出された樹木が、紅葉で染まった見事な水面をつくり出し、昼間の景観とは違う日本庭園の美しさを表現しています。

牡丹館に続く遊歩道周辺はスポットライトと人感センサとの連動で、来館者が進むとそれぞれが時間差で反応、ライトアップ器具が次々に点灯し、樹木を浮き上がらせライトアップの中に新鮮さ・驚きを取り入れています。



赤橋から竜溪滝方向を望む ライトアップにより奥行き感を演出すると共に秋色に染まった水面を表現



人感センサにより入館者が進むと時間差で反応したライトアップ器具が次々と点灯



ハロゲン灯具を千鳥配置した庭園入口



ロビーからのライトアップした夜景



松を照らすCDMスポットライト

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室外	スポットライト	HT-03503MF(K)-PM	26	ネオセラ35W
		IK-207C(K)	118	レフランプ135W
		IK-207C(K)	19	レフランプ135W
		IK-507C(K)	7	レフランプ270W
		HT-15003MF(K)-PM	6	CDM150W